

# 海蔵学童保育所

海蔵学童保育所は、昭和45年に四日市市で最初にできた学童保育所です。43年もの間、ずっと海蔵地区の「地域の力」によって継続・運営されています。海蔵小学校の児童数が増え入所希望者も増加したことから、平成21年には、第2学童保育所もできました。

そもそも…学童保育所ってどんな所か知っていますか？

学童保育所は、放課後や土曜日、夏・冬・春休みなど小学校が休みのときに、保護者が仕事や病気などのため家庭で保育することができない子どもが、安心して遊んだり宿題をしたりできる「生活の場」です。

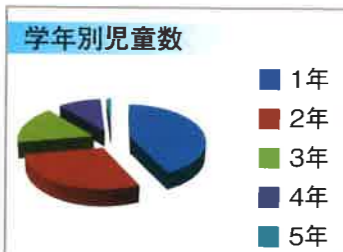
現代社会では、家庭・園・学校そして地域が連携して子どもを育てる必要があります。「子育て」をしている親をサポートする役割だけでなく、子ども自身が自らの力で心身ともに成長する「子育て」の場であり、子どもたちの居場所である海蔵学童保育所は、大切な「地域の宝」であるといえるでしょう。

## 海蔵学童保育所の現状

◆保育時間 平日：放課後～18:30 土曜日・夏・冬・春休みなど：7:30～18:30

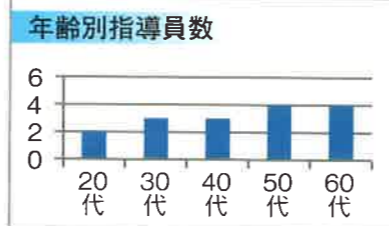
◆入所児童数（第1：52名 第2：38名）

1年	38名
2年	27名
3年	15名
4年	9名
5年	1名
合計	90名



◆指導員数

所長	1名
常勤	1名
非常勤	12名
アルバイト	2名
合計	16名
女	15名
男	1名



◆運営委員 地区社会福祉協議会会長・民生委員児童委員協議会会長・主任児童委員・小学校PTA会長・育成会会長・保護者代表・指導員代表

◆所在地 第1学童保育所：東阿倉川578-1（海蔵小学校敷地内）TEL 333-5531  
第2学童保育所：東阿倉川835-6（障害者自立支援生活介護事業所・「風の家」3階）

★第1学童保育所「なかよし」

♥第2学童保育所「風の家」



★小学校の敷地内なので、小学校などの関係機関と連携が密にできます。

♥おやつにパン工房「風の家」の手作りパンを食べています。

## 保育内容と地域とのつながり

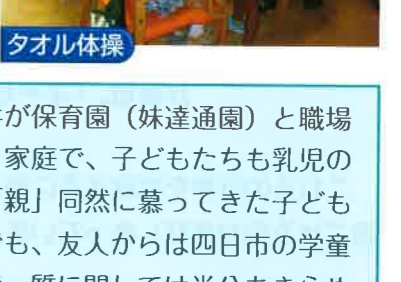


指導員の声 学童保育所では、異年齢の子どもたちが長期間、兄弟姉妹のように生活を共にすることができます。遊びやふれあい、体験を通して、自然に生きる力を育むことができます。地域の行事に参加したり、高齢者や障がいのある人たちの施設を訪問したりする中で、多くの方々の思いやりや優しさにふれ、幸せな時間を過ごすこともできます。

指導員の専門性を活かし、舞踊・音楽・スポーツ・絵画・読書などにチャレンジしています。子どもたち一人ひとりが個性を伸ばし自尊心を育ててくれたらと願っています。

ある研修で、学童の指導員は、「となりのトロロ」のような存在になることが好ましいという話をききました。「本当の家族にはなれないけれど、困った時、寂しくなった時、そばにあらわれ、心を和ませ安心させ、夢を与える」そんな存在でありたいと、16名で力をあわせ、90名の子どもたちを支えています。

- 一日の流れ 放課後～ 宿題
- 15:30～ 自由遊び（小学校運動場）  
サッカー・ドッジビー・なわとび・一輪車
  - 16:20～ 今月のうた・読み聞かせ
  - 16:30～ おやつ（当番活動）
  - 17:00～ 自由あそび（幼稚園園庭）  
うんてい・おにごっこ・かくれんぼ・すべりだい
  - 17:30～ 自由あそび（室内など）  
こま・オセロ・マンカラ・おりがみ・どろだんご



保護者の声 長女が小学校に入学するのを機に家を建てることとなり、立地条件が保育園（妹達通園）と職場と小学校、そして学童保育所を行き来できる場所でした。我が家はずっと共働き家庭で、子どもたちも乳児の頃から保育園を第2の家として生活してきました。保育をしてくれる先生方を「親」同然に慕ってきた子どもにとって、また頼ってきた親として学童保育の質はとても重要なものでした。でも、友人からは四日市の学童保育は民設民営で、先生の確保も経営も親がやるものという話を聞いていたので、質に関しては半分あきらめモードで、小学校の敷地内に施設があり、子どもたちが通うのが安全である海蔵地区を選択しました。実際に入所を決め、説明会にいくと、リードしてくれる先生がおり、かつ地域が一体となった学童保育であることを知り、すごく安堵した事を覚えています。

入所してからは、放課後しっかり宿題をする時間をとっていただき、地域の行事などに参加する事でいろいろな経験をさせてもらっており、充実した生活をおくっているように親としては思います。確かに、学童に通っていない仲の良いお友達と遊びたい、監視の目のないところで遊びたいなど、子どもには、それなりの不満はあるようですが、悪い事、危険な事をした時、きちんと叱ってくれる先生がそばにいる事は、親としてこれ以上の安心材料はないように思います。また、長期の休みには、工場見学やバス遠足など、毎回企画して頂き、長い休みを楽しく過ごす工夫をして頂いて、すごく助かっています。